

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3873800415
法人名	有限会社 ラッセル社
事業所名	うっかり長屋きなはいや
所在地	西予市野村町野村 1 1 - 1
自己評価作成日	平成22年9月1日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年9月21日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

「呆けても自分らしく生きられる。R,R,Q」を理念に、自分らしい行動の支援、強制のない対応を行い、自分の家族や、自分が将来生活しても良いと思えるところを気にかけて行動しています。自分の家ではないけど、家に近い居場所で、のんびり、ゆっくり、皆と一緒に楽しんで暮らし、家に帰り生活したいと言う思いをかなえられるよう支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

事業所では、ジャズや童謡・戦前の音楽等、いろいろなジャンルの音楽を流しておられ、利用者が関心のある音楽の題名や歌手名を貼っておられた。お花見や花火等、外出時の写真額に入れて飾り、利用者との話のきっかけにされている。「飾り付け担当」職員を中心に、折り紙でアジサイを折ったり、七夕飾りを作る等「季節感を感じることでできるような装飾」を利用者と一緒に作り、飾るようになっている。他の利用者と一緒に、ご家族のお宅の庭に花を見せてもらいに出かけられた。その際には、ご近所の方も会いに来てくださるようだ。病院受診の際、待合室では、兄弟や親せき、友人達と会うことも多く、時には事業所にも訪ねて来てくれている。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 うっかり長屋きなはいや

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏名

西山 洋一

評価完了日

平成22年 9月 1日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 「呆けても自分らしくいきられる。R,R,Q」 Relation:地域の皆様とのつながり Respect :高齢者を尊敬する Quality :介護の質 理念のもと、その人らしく暮らせる支援を心がけている。束縛、強制のない行動の支援をいつも心がけている。	
			(外部評価) 事業所の理念をもとに、昨年末、職員で話し合い「みんなて笑って楽しく気づき出来る介護」とサブ理念を作成された。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 中学生の職場見学や一日職場体験などの受け入れを行っている。 散歩や買い物に出かけたりすることで、地域の方のかかわりが持てるように努めている。 近所の方が季節の野菜や果物をよく持ってこられる。七夕の時は近所から笹を頂いている。	
			(外部評価) 地域の方からは「ここは、アパートですか？」と尋ねられることもあるようだ。地域の方に事業所やグループホームのことを知ってもらったり、地域の方と一緒に活動できるような機会を増やして、地域との付き合いを深めていかれてほしい。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 日常あった出来事をホームページのブログに載せている。どなたでも、きなはいやの生活をみていただけます。貸し出し図書なども行ってあります。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている	(自己評価)	
				気になること、気にかかることなどの意見を交換したり、季節の行事の情報を教えていただいている。来られていない家族にも内容を伝えている。
			(外部評価)	
				事業所では、消防署、小学校の先生にも参加をお願いしたいと考えておられた。又、他のグループホームの運営推進会議にも参加させていただいたことから「事業所の会議の内容についても検討していきたい」と考えておられた。
5	4	市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価)	
				今年から介護相談員を同じ方で固定していただき、2ヶ月に1回訪問されている。
			(外部評価)	
				年2回開催される市主催のグループホーム連絡会に参加され、介護計画やケアについてグループワークや事例検討等を行い、意見交換されている。スプリンクラーの設置について市の担当者の方にアドバイスをいただき、申請手続きを行ったところである。
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)	
				スタッフ全員が理解できていて拘束になるようなことは行っていない。
			(外部評価)	
				事業所では、事故防止策について職員で話し合いを重ねて、身体拘束をしないケアの実践に努めておられる。2階に居室のある利用者の方が落ち着かない状態にある時だけ、居室を出入りするとベルが鳴るようにされている。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 言葉の虐待にも気をつけている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 必要な方がいないため、話し合いは行っていない。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約を結ぶ時点で、説明を行っている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者の意見は日ごろから職員がきにかけている。家族の意見は面会や日常での電話連絡の際に、いつでも意見をいただけるように伝えている。出た意見はスタッフ会議で話合うようにしている。家族へのアンケートを実施した。 (外部評価) ご家族は、利用料の支払等、毎月訪問するようになっており、職員は、利用者個々のアルバムをお見せする等、日々のご本人の様子を伝えておられる。又、年2回事業所便りも発行しておられたり、利用者の様子をブログで紹介されており、ご家族からは、「ブログ見ました。様子がわかります」との感想をいただいた。	
				ご家族へのアンケートを実施されたが、意見や要望をいただくことは少なかったようである。利用する側であるご家族からの意見や提案等は、事業所のケアサービスの質向上に取り組むきっかけにもなり、今後さらに、評価機関からの「家族アンケートコメント抜粋表」を活用される等、ご家族からご意見等が聞けるよう、工夫を重ねていかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			代表者、管理者はいつでも職員の希望を聞き、可能なことは協力している。職員はそれぞれが自らを活かせる役割を持ち取り組んでいる。	
			(外部評価)	
			事業所では、現在、職員の質の向上に向けての取り組みに力を入れておられる。今回初めて相互研修に参加されたり、職員からの提案でミーティング時に「高齢者疑似体験」を行われた。又、職員の得意なことを採り入れて、畑の世話、裁縫、飾り付け等を担当職員が中心となって、ミーティングで話し合いながら取り組みをすすめておられる。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			個々にあった、環境や条件の整備に努めている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			講演会への参加、研修への参加をしてもらったり、参考資料を置くなどして、個々にあった知識を身につけられるようにしている。個人目標を立てて達成できるように取り組んでいる。他施設との相互研修も行っている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			連絡協議会主催の講義や相互研修へ参加して、ネットワーク作りに取り組んでいる。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			関わりを持ち、気付きを深める努力をしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価)	相談時によく聞き、支援の方向を話合っている。
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)	可能な限り、支援することを努めている。
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価)	日ごろの支援から本人のできることを気付き、一緒に参加できる機会をつくっている。
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価)	気になること、気にかかるとはその都度、相談しながら行っている。
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価)	知人や家族の面会がある。本人の希望で家族の家に出かけたり、お墓参りにも出かけたりすることもある。
			(外部評価)	他の利用者と一緒に、ご家族のお宅の庭に花を見せてもらいに出かけられた。その際には、ご近所の方も会いに来てくださるようだ。病院受診の際、待合室では、兄弟や親せき、友人達と会うことも多く、時には事業所にも訪ねて来てくれている。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価)	ソファや食事の座る位置にも気かけ、利用者同士の関係が作れるように常に気をつけている。他者との関係が気付くのが難しい方は、スタッフが関わりを多く持つように努めている。
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価)	事項の挨拶、連絡などを時折行っている。
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)	馴染みの関係を保ち、個々の思い、意向を聴くように努力している。困難な方は家族の意向を聞いたりしている。
			(外部評価)	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)	入所時、本人の日常の支援の中からや家族のお訪問時などから情報を得ている。
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価)	それぞれの有する力を活用できる状態に誘導できている。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>三ヶ月ごとに見直しを実施、家族の訪問時話あったり、スタッフ会議で話合って個々にあったプランを作成している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご本人やご家族には日ごろのかかわりの中で、思いや意見を聞き、介護計画に反映されている。職員は、日々、介護計画の項目に沿ってチェックして、モニタリングをされている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個々のケアプランの実践のチェック表、個別記録では出来事による対応、気づきの記録を行い。グループ日誌や申し送りノートなどで情報の共有に努めている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>その都度対応できるように心がけている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日ごろのドライブや季節の行事に参加している。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価)	
			個人のかかりつけ医へ受診している。	
			(外部評価)	
			利用者は、以前からのかかりつけ医に続けてかかるこ とができるよう支援されており、受診には職員が同行 されている。状態変化時には、ご家族にも一緒に付き 添ってもらうようにされている。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価)	
			看護職員がいないため、変化があればかかりつけの病 院に電話し指示を受けている。	
			(外部評価)	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価)	
			利用者の状態により早期に退院できるようにお願い し、通院での対応が可能になれば、退院し通院での対 応を行っている。	
			(外部評価)	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)	
			家族、かかりつけ医との話し合いで、入院、通院を見 極め必要時は支援している。	
			(外部評価)	
			利用者の状態の変化時には、医療機関やご家族とご本 人の今後のことについて相談し、他の介護施設に申し 込みをされる方もある。ご家族は「出来るだけ見てほ しい」と希望されている方もある。	管理者は、事業所でも今後「看取り支援に取り組みたい」という気持を持っておられる。ご本人の意向やご家族の希望、又、事業所の体制やご家族・医療機関との協力体制等、ご本人を支える体制作りを整えていけるよう、取り組んでいかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 消防署から、応急救護、人命救助訓練に来ていただいている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 消防署から、防災訓練を受けているが、とっさのときの誘導に不安がある。近所との協力が得られるように関わりを持っている。非難道具を準備している。近所の方へ協力をお願いしている。 (外部評価) 4月、8月は、通報、消火、誘導と職員が担当を決めて、所要時間を計り訓練を行われた。12月には、消防署の協力を得て、消火器の使い方や布団を使った避難法を教えていただいた。事業所では、災害時に必要な非常食や布団等を準備されている。	事業所は2階建の造りであり、居室が2階にもあることから、今後さらに夜間時を想定した避難訓練等も実施して、全利用者、職員の安全を守るための取り組みを重ねていかれてほしい。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 日ごろから、プライバシーを傷つけないような言葉使いや、声かけに配慮している。 (外部評価) 事業所では、「言うてはいけない言葉」のリストを職員に配布されている。職員は、言葉かけや「急がしてはいけない」「利用者のペースで動く」等、対応について気付いたことを話し合うようにされている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 自己決定ができるような声かけや、雰囲気を作れるように努力している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 希望を出される方はあまりいないが、このペースで生活できるように支援できている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 外出時には化粧をしたりおしゃれ着に着替えたり、おしゃれに気をつかわれる方もおられます。散髪の上手な職員が、個々の希望を聞き、個々にあった髪型に切っています。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 野菜切りをしていただいたり、食後の食器拭きなど一緒に行っている。菜園で収穫した野菜も調理に使っている。食べやすい大きさや硬さに注意し調理している。	
			(外部評価) 献立は、職員が利用者に聞きながら、決めるようにされている。魚か肉か選んでもらったり、食材をお見せすると「 にしたらいいわい」とアドバイスをくれる利用者もある。朝食は、水分補給も考えて「お粥」にされている。食材は、毎日利用者と買い出しに行っておられる。利用者の身体機能のこともあり、現在利用者が食事の準備をされることは少なくなったようだが、下膳や片付け等をされている様子がうかがえた。利用者からは、よく「ぼたもちや、餅が食べたい」との希望があり、大きさや硬さを調節して手作りおやつ等も楽しんでおられる。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 普通食、キザミ食、ミキサー食、お茶ゼリーなど個々に合った対応をしている。バランスのチェック、食事量・水分量のチェックを行っている。水分を摂取のための声かけも気にかけている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後、口腔ケアの実施している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	排泄チェック表を利用したりして、それぞれの排泄パターンにあった援助を行っている。	
			(外部評価)		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	常に心がけているが、どうしてもだめな時は服薬もある。	
			(外部評価)		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	体調の状態によるが、ほとんど毎日に全員が入浴されている。	
			(外部評価)		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	眠剤を使用されている方や、夜間不眠になられる方もおられません。皆さん気持ちよく眠られているようです。	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 全員が理解できているとは言えないが、職員のがいつでも確認できるようにしている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 風船バレー、お手玉、家庭菜園の野菜の収穫、日曜大工などしています。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) ドライブに出かけたり、季節の行事に参加したりします。希望により洋服などのショッピングにも出かけています。	
			(外部評価) 温泉がお好きな方は、ご家族と温泉に行かれたり、個別に職員と温泉に出かけることもある。全員でお花見に出かけたり「行ったことのないところに連れて行って」と利用者から希望があった際には、大洲にも出かけてみられた。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 直接、所持している方はおられません、使いたい時に使われる方は、いつでも渡せるように預かっています。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) いつでも電話できるように支援しています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>季節ごとに飾りをしたり、一緒に飾りを作ったりしている。ご近所からいただいた花も飾っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>事業所では、ジャズや童謡・戦前の音楽等、いろいろなジャンルの音楽を流しておられ、利用者が関心のある音楽の題名や歌手名を貼っておられた。お花見や花火等、外出時の写真を額に入れて飾り、利用者との話のきっかけにされている。「飾り付け担当」職員を中心に、折り紙でアジサイを折ったり、七夕飾りを作る等「季節感を感じることでできるような装飾」を利用者と一緒に作り、飾るようにされている。日中は、居間で過ごされる利用者が多い。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>家具の配置をかえたりして工夫をしている。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>家具など家族さんがもちこまれるが、本人が使い慣れた物とは言えないかもしれない。家族の写真を飾られている方もいらっしゃいます。</p> <p>(外部評価)</p> <p>夜間、排泄等、職員の手を借りたい利用者には、ベッド横に鈴を置き、鈴を鳴らして職員を呼ぶことができるようにされている。又、畳を敷き、布団で休まれる利用者もおられる。外出時の写真や、ご家族の写真を飾っておられる方もあった。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>必要に応じ、手すり、福祉機器などを準備している。</p>	